



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
 コード番号 7812 URL http://www.crestec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	12,749	15.8	614	14.3	586	5.2	271	△14.8
29年6月期第3四半期	11,013	△6.8	537	51.8	557	121.6	319	301.3

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 260百万円 (△57.8%) 29年6月期第3四半期 617百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	88.56	—
29年6月期第3四半期	105.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第3四半期	13,291	4,063	25.8	1,115.47
29年6月期	12,322	3,879	26.7	1,084.34

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 3,422百万円 29年6月期 3,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	13.00	—	24.00	37.00
30年6月期	—	17.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	10.9	755	9.4	666	△6.7	326	△11.3	107.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	3,248,900株	29年6月期	3,248,900株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	180,426株	29年6月期	210,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	3,068,474株	29年6月期3Q	3,038,270株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気回復の一段感はあるものの個人消費や設備投資の底堅い推移や、雇用環境が引き続き堅調であるなど、緩やかな景気回復基調が続いており製造企業全般に収益が改善されました。しかし、引き続き世界情勢が不安定な状況、さらに円高懸念もある中、一部の輸出型企業などでは、まだ先行き不透明な状況となっております。

一方、世界経済においては、欧米における景況感の鈍化はあるものの高水準を維持しており、米国では減税効果や個人消費および設備投資が景気の下支えとなり、経済は引き続き堅調に推移しております。欧州においても輸出の拡大や投資の持ち直しなどにより堅調な回復が続いております。また、中国では経済に対する懸念が後退傾向がありますが、構造調整や環境対策などが重しとなり景気回復への遅れが継続、さらに米中の貿易摩擦懸念もあり、先行き不透明な状況となっております。東南アジアにおいても全体では成長が鈍化した状態ではありますが、一部で新産業関連の投資拡大や輸出の回復などがあり改善傾向となっております。

こうした経済状況のもと、当社グループの主要顧客である日系メーカーでは、輸送機器や情報機器などの分野で引き続き新製品の開発も含め概ね堅調でした。さらに生活用品やヘルスケア用品における新たな事業分野の取引も始まりました。外資系メーカーでは、中国において医薬品分野が引き続き堅調に推移、生活家電メーカーなど新しい顧客との取引も拡大しております。しかしながら、円安傾向にあった為替相場が円高に推移したため為替差益が減少、さらに請け負った取扱説明書の印刷不具合により発生が見込まれる補償費用53,000千円を製品保証引当金繰入額として計上したことにより販売費及び一般管理費が増加しました。尚、第3四半期において、これらのマイナス要因も発生いたしましたが、通期計画の達成に向けて業績も堅調に推移していることから、現時点で連結業績予想に変更はありません。

このような中、当社グループでは、当期からスタートしました中期経営計画「CR Vision 2020」の基本方針である『成長に向けた企業基盤の確立へ』に向けて、“事業強化”と“体制強化”の二本の柱をもとに経営重点戦略を継続的に推進しております。この中で事業拡大に直結する“事業強化”として、幾つかの取り組みを展開しております。既存事業の深化のひとつとして、世代を越えて誰でもどこでも分かりやすい情報伝達手段として動画マニュアルとの連動やユーザーの行動観察によるマニュアル改善などにより、問合せ減少など市場やお客様に大きな評価を頂いております。また、子会社化しました大野印刷株式会社との連携強化により、輸送機器分野の事業拡大にも取り組んでおります。さらに、事業強化戦略のテーマでもありますグローバルネットワークの強化においては、アジア地域における新拠点として平成30年7月の設立を目指してインドへの進出も決定いたしました。今後成長が期待できるインド市場での収益拡大を図ってまいります。

一方、もう一つの柱であります“体制強化”では、当期において戦略のひとつでもあります“業務改善と生産性向上”に向け、横断的なプロジェクトチームを構築、社員のスキルアップ活動・効率化への働き方改革活動・生産性向上への業務改善活動などに取り組んでおります。

以上のような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,749,115千円（前年同期比15.8%増）、営業利益は614,623千円（前年同期比14.3%増）、経常利益は586,684千円（前年同期比5.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は271,733千円（前年同期比14.8%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

輸送機器メーカーの業績は引き続き安定しており、当社との取引も堅調でした。情報機器メーカーやインフラ系メーカーにおいても、当社との取引は引き続き堅調な動きでした。また、今期より子会社化した大野印刷株式会社では当第3四半期累計期間ではセグメント利益低迷の要因のひとつとはなりましたが、経営改善に向けた様々な取り組みを行っており、通期での業績は改善される見込みです。尚、上記（経営成績に関する説明）に記載の補償費用53,000千円につきましては、日本において計上しております。

このような状況のもと、日本では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は3,759,056千円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は152,197千円（前年同期比11.3%減）となりました。

② 中国地域

華南地区では、引き続き東南アジアへの生産移管が進んでいること、また原材料である紙材の価格安定が進まないことなどにより、厳しい状況が続いておりますが、組織体制の再構築や新たな顧客開拓などにより緩やかに改善しております。一方、華東地区では医薬品関連が引き続き堅調であり、さらに輸送機器関連の取引も安定しており、増収維持となりました。

このような状況のもと、中国では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は2,982,704千円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は73,293千円（前年同期比11.2%増）となりました。

③ 東南アジア地域

フィリピンでは、引き続き情報機器メーカー中心に生産量は安定しており、当社との取引も堅調でした。また、タイでも既存顧客の生産量が安定しており、取引も引き続き堅調でした。一方でインドネシアでは輸出型製造業の生産や新規投資が引き続き停滞しており、当社との取引も低調でしたが、外資系大手食品メーカーの中国華南地区からの生産移管や生活用品やヘルスケア用品などの新規顧客の拡大もあり、改善傾向となりました。

このような状況のもとで、東南アジアでは、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は5,049,186千円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は287,772千円（前年同期比108.4%増）となりました。

④ 欧米地域

米国ではメインである輸送機器メーカーとの取引は、米国経済の牽引もあり引き続き堅調でしたが、季節要因による一時的な売上減少やグループ会社間での取引減少もあり減収傾向となりました。また、欧州ではメインである輸送機器メーカーの取引が順調に推移し改善傾向となり、安定化しております。

このような状況のもとで、欧米では、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は958,167千円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は109,061千円（前年同期比34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,246,259千円となり、前連結会計年度末に比べ21,740千円増加いたしました。これは主に短期貸付金が739,546千円減少いたしました。なお、短期貸付金の減少のうち740,000千円につきましては、平成29年7月1日付で株式交換により完全子会社となった大野印刷株式会社への貸付金であり、連結子会社化に伴う減少であります。

固定資産は4,045,255千円となり、前連結会計年度末に比べ946,942千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が903,475千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、13,291,514千円となり、前連結会計年度末に比べ968,683千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,505,743千円となり、前連結会計年度末に比べ960,369千円増加いたしました。これは主に短期借入金が880,433千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,722,616千円となり、前連結会計年度末に比べ175,834千円減少いたしました。これは主に長期借入金が231,162千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、9,228,359千円となり、前連結会計年度末に比べ784,534千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,063,155千円となり、前連結会計年度末に比べ184,148千円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が75,648千円減少しましたが、利益剰余金が146,653千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の通期連結業績につきましては、平成29年8月10日の「平成29年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,305,897	3,395,074
受取手形及び売掛金	2,803,049	3,127,663
商品及び製品	1,011,177	1,077,724
仕掛品	482,984	495,325
原材料及び貯蔵品	258,252	365,901
短期貸付金	741,419	1,873
繰延税金資産	170,371	119,900
その他	456,300	669,501
貸倒引当金	△4,935	△6,704
流動資産合計	9,224,518	9,246,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	552,597	727,004
機械装置及び運搬具（純額）	1,259,474	1,642,287
工具、器具及び備品（純額）	126,451	125,717
土地	213,305	560,294
有形固定資産合計	2,151,829	3,055,304
無形固定資産		
のれん	—	63,021
その他	139,015	128,873
無形固定資産合計	139,015	191,895
投資その他の資産		
投資有価証券	86,760	86,793
退職給付に係る資産	77,637	86,440
繰延税金資産	341,928	318,782
その他	306,526	311,424
貸倒引当金	△5,385	△5,385
投資その他の資産合計	807,468	798,056
固定資産合計	3,098,313	4,045,255
資産合計	12,322,831	13,291,514

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,991	1,170,759
短期借入金	2,212,620	3,093,054
1年内返済予定の長期借入金	1,288,158	1,255,665
リース債務	56,978	41,035
未払法人税等	129,373	113,270
賞与引当金	93,664	144,132
未払金	433,331	625,192
その他	64,256	62,632
流動負債合計	5,545,374	6,505,743
固定負債		
長期借入金	2,535,340	2,304,177
リース債務	63,159	41,906
役員退職慰労引当金	53,876	59,777
退職給付に係る負債	245,929	263,602
製品保証引当金	—	53,000
その他	144	152
固定負債合計	2,898,450	2,722,616
負債合計	8,443,825	9,228,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,400	215,400
資本剰余金	140,400	166,427
利益剰余金	3,265,889	3,412,543
自己株式	△159,660	△136,723
株主資本合計	3,462,029	3,657,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892	1,008
為替換算調整勘定	△120,389	△196,037
退職給付に係る調整累計額	△48,128	△39,814
その他の包括利益累計額合計	△167,625	△234,843
非支配株主持分	584,602	640,350
純資産合計	3,879,006	4,063,155
負債純資産合計	12,322,831	13,291,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	11,013,197	12,749,115
売上原価	8,209,622	9,601,684
売上総利益	2,803,574	3,147,430
販売費及び一般管理費		
役員報酬	34,620	26,970
給料	872,584	976,390
賞与引当金繰入額	65,348	63,437
役員退職慰労引当金繰入額	5,667	5,901
退職給付費用	33,362	52,994
貸倒引当金繰入額	4,491	1,291
製品保証引当金繰入額	—	53,000
減価償却費	64,614	66,842
のれん償却額	—	5,109
賃借料	194,580	189,966
研究開発費	25,281	32,208
その他	965,247	1,058,694
販売費及び一般管理費合計	2,265,798	2,532,807
営業利益	537,776	614,623
営業外収益		
受取利息	6,579	5,647
受取配当金	69	307
作業くず売却益	24,394	31,226
助成金収入	17,867	1,680
為替差益	44,856	16,596
その他	11,644	14,368
営業外収益合計	105,412	69,826
営業外費用		
支払利息	79,106	90,189
その他	6,441	7,577
営業外費用合計	85,548	97,766
経常利益	557,639	586,684
特別利益		
固定資産売却益	9,720	4,221
特別利益合計	9,720	4,221
特別損失		
固定資産売却損	—	15,021
固定資産除却損	11,022	4,157
特別損失合計	11,022	19,179
税金等調整前四半期純利益	556,337	571,726
法人税、住民税及び事業税	253,480	167,303
法人税等調整額	△53,106	92,134
法人税等合計	200,374	259,437
四半期純利益	355,963	312,289
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,944	40,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,018	271,733

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	355,963	312,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,533	116
為替換算調整勘定	257,744	△60,455
退職給付に係る調整額	1,018	8,313
その他の包括利益合計	261,296	△52,025
四半期包括利益	617,259	260,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,562	204,515
非支配株主に係る四半期包括利益	64,697	55,748

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,239,885	2,525,531	4,301,479	946,300	11,013,197	—	11,013,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	276,687	146,179	20,973	174,434	618,275	△618,275	—
計	3,516,573	2,671,710	4,322,453	1,120,735	11,631,473	△618,275	11,013,197
セグメント利益	171,645	65,884	138,114	165,985	541,629	△3,853	537,776

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,759,056	2,982,704	5,049,186	958,167	12,749,115	—	12,749,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	282,580	134,394	26,800	126,317	570,092	△570,092	—
計	4,041,636	3,117,099	5,075,987	1,084,484	13,319,208	△570,092	12,749,115
セグメント利益	152,197	73,293	287,772	109,061	622,324	△7,701	614,623

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」において、平成29年7月1日付で大野印刷株式会社の全株式を株式交換により取得したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は68,131千円であります。